

平成26年度 旭川市地域公共交通会議 事業計画（案）

1 基本的な考え方

旭川市における利便性が高く、持続可能な公共交通の実現を目標に、地域のニーズを踏まえた最適な交通手段を確保維持していくための調査や、地域の多様な関係者により協議、計画策定、及び実施に係る連絡調整を行う。

2 平成26年度事業計画（案）

（1）会議の開催

平成25年度事業の進捗報告及び平成26年度の地域公共交通の検討、消費税引き上げにともなう運賃改定の報告などのため、本年度、2回程度の会議を開催予定。

（2）地域協働推進事業

○ 実施主体：旭川市地域公共交通会議 【平成26年6月～平成27年3月（予定）】

○ 事業費：5,566,000円（国・市：2,783,000円）

持続可能な地域公共交通体系を構築するため、地域ぐるみによる利用促進となる取り組みの実施。

- ・モビリティマネジメント：学生、企業などへ公共交通利用の自発的な取り組みを働きかける。
- ・地域におけるワークショップ及びバスの乗り方出前講座
- ・公共交通マップ：系統番号の見直しを含む、公共交通マップの作成に向けての検討。

（3）住民参加による低炭素都市形成計画策定モデル事業（H26）との連携

○ 実施主体：八千代エンジニアリング 【平成26年4月1日～平成27年3月
旭川市（共同実施者） 31日】

○ 事業費：約17,500,000円（国が全額負担）

八千代エンジニアリングと旭川市との連携による環境省の「住民参加による低炭素都市形成計画策定モデル事業」の実施。

- ・集約型都市構造を目指した公共交通サービス水準の検討
- ・中心部バス路線再編や交通モードの適用等検討
- ・交通結節機能を備えた集約拠点の検討
- ・新たな交通システム（基幹交通）の検討
- ・市民との協働プログラムの検討

（4）その他関連事業との連携